

東日本大震災・原子力災害 第3回 学術研究集会 プログラム

2025年(令和7年)3月19日(水)～20日(木)

会場:コラッセふくしま4階(福島県福島市三河南町1番2号)

3月19日(水)

09:30 受付開始(名札配布、出欠確認)
10:00-12:00 口頭発表(セッション1) [A・B・C会場]
13:20-13:30 主催挨拶 [A会場]
13:30-15:30 口頭発表(セッション2) [A・B・C会場]
15:40-17:40 口頭発表(セッション3) [A・B・C会場]

3月20日(木)

10:00 受付開始(名札配布、出欠確認)
10:20-12:00 口頭発表(セッション4) [A・B・C会場]
13:30-15:30 口頭発表(セッション5) [A・B・C会場]

A会場 4階 多目的ホール
B会場 4階 中会議室
C会場 4階 小会議室402

19日(1日目)

発表(案)	開始時刻	氏名	所属	発表題目
安田 仲宏 (福井大学附属国際原子力工学研究所/東日本大震災・原子力災害伝承館)				
1A 午前・A会場 10:00	健康・放射線影響	AKZHOLOVA MeNagasaki University, Disaster and Radiation Medical Sciences	Temporal Variations in Radionuclide Concentrations in Foods Produced in Tomioka Town within a 20km Radius of the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant and the Evaluation of Committed Effective Doses	
午前・A会場 10:20	コミュニティ	ZABROVA AizhuNagasaki University	Impact of the discharge of treated water on former residents' intention to return to their home towns around TEPCO Fukushima Daiichi Nuclear Power Station	
午前・A会場 10:40	コミュニティ	劉 夢潔 Nagasaki University	Addressing Spatial Stigma and Promoting Community Recovery in Post-FDNPP Fukushima FDNPP	
午前・A会場 11:00	コミュニケーション	肖 旭 長崎大学原爆後障害医療研究所国際医療保健福祉学研究分野	Comparative Analysis of Public Concerns Regarding Treated Water Discharged from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant: Perspectives before and after the Initial Release	
午前・A会場 11:20	コミュニケーション	TERADA Takeshi長崎大学原爆後障害医療研究所	Investigating the Public's Acceptance of Recycling Contaminated Soil in the Areas Where People Live, and the Factors Related to the Public's Acceptance	
午前・A会場 11:40				
1B 開沼 博 (東京大学大学院情報学環/東日本大震災・原子力災害伝承館)				
午前・B会場 10:00	産業	根本 善己 東京大学	福島復興を再考する一双葉町・大熊町・富岡町・浪江町の飲食店に着目して——人手の調達における実態と課題。そのプロセス——	
午前・B会場 10:20	産業	吉田 豊 筑波大学大学院人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究科	福島復興を再考する一双葉町・大熊町・富岡町・浪江町の飲食店に着目して1) ——飲食店事業者の語りと実践に伴う持続性に向けた課題抽出——	
午前・B会場 10:40	コミュニケーション	井上 天凱 成城学園高校	災害記憶消滅世代の東日本大震災・原子力災害に対する 認識の現状と課題	
午前・B会場 11:00	コミュニケーション	戸田 隆翔 白河高等学校	高校生が捉える災害報道の信頼性	
午前・B会場 11:20	コミュニケーション	松原 理乃 関西学院大学	地震発生時における、原子力規制委員会のポスターの注目度と、クライシスコミュニケーション上の課題は何か? —令和6年能登半島沖地震以降 2024年の事例を分析—	
午前・B会場 11:40	行政・防災対策	海老名悠希 常盤大学/YKストレスケアオフィス	「やさしいにほんごでぼうさいかるた」が持つ災害弱者への防災啓発ツールとしての汎用性	
1C 山田 修司 (東日本大震災・原子力災害伝承館)				
午前・C会場 10:00	健康・放射線影響	大沼 淳一 未来につなげる東海ネット・市民放射能測定センター	原発事故と放射線ばくばくのリスク論 - 低線量ばくばくによる健康被害リスクは実害 - 因果律不明瞭問題で被害者を泣き入りさせないために	
午前・C会場 10:20	健康・放射線影響	石川 洋行 明治学院大学	3.11以後の地域社会と科学的知の生産を促す——「科学災害」をめぐる社会人類学の視点から	
午前・C会場 10:40	健康・放射線影響	伊藤 浩志 フリーランス	なぜ健康の社会的決定要因は見逃されてしまうのか?放射線災害の健康被害を正當に評価することが真の復興を促す	
午前・C会場 11:00	健康・放射線影響	八巻 俊憲 原子力市民委員会	ポスト3.11と市民性一原発災害の実態をどう見るか—	
午前・C会場 11:20	健康・放射線影響	藤田 康元 みんなのデータサイト	市民放射能測定室質問紙調査の結果から	
午前・C会場 11:40	健康・放射線影響	大沼 肇子 Minna-no Data Site・Tokai Net for the Future; Citizen's Radiation Measurement みんなのデータサイト; 山菜・タケノコ・キノコ放射性セシウム測定プロジェクト結果について—「測って判断」のすすめ—		
2A 葛西 優香 (東日本大震災・原子力災害伝承館)				
午後・A会場 13:30	コミュニケーション	多田 健太 東京大学大学院 学際情報学府	「災害を伝える」というコミュニケーション過程に関する研究	
午後・A会場 13:50	コミュニティ (伝承)	弓山 達也 東京工業大学	大規模災害下でなぜ祭りは復興のシンボルになるのか—スピリチュアリティの観点から—	
午後・A会場 14:10	コミュニティ (伝承)	佐藤 公 磐梯山噴火記念館	伝承災害と祭り— 磐梯山の火山災害とジオパークから考える —	
午後・A会場 14:30	コミュニティ (伝承)	小原 康将 関西学院大学大学院社会学研究科	原発事故後のまちづくりにおいてどこに住民が参加できたのか——双葉町の復興まちづくり計画(第一次)における住民関与の分析——	
午後・A会場 14:50	コミュニティ (伝承)	小嶋朱理菜 福島県立磐城高等学校	「震災遺産と問いづくり」の授業から考える震災伝承について	
午後・A会場 15:10	コミュニティ (伝承)	葛西 優香 東日本大震災・原子力災害 伝承館/東京大学大学院学際情報学府	復興過程のまちづくり——祭からの発展——	
2B 松永 紀都美 (長崎大学原爆後障害医療研究所/東日本大震災・原子力災害伝承館)				
午後・B会場 13:30	コミュニケーション (教育)	牧口 葵江 東京大学	技術士「原子力・放射線部門」の制度化過程とその問題点の分析	
午後・B会場 13:50	コミュニケーション (教育)	奥山 泰牙 福島大学	原子力を主としたSTEAM教育を受講する高校生が持つニーズと実態の調査	
午後・B会場 14:10	コミュニケーション (教育)	奥山 泰牙 会津若松市地域学校協働活動推進員	博物館での防災教育実践の意義—防災講座で育まれる力と学習指導要領・キャリア教育との関連性—	
午後・B会場 14:30	コミュニケーション (教育)	齊藤 玲 東北大学災害科学国際研究所	超デジタル時代における教育災害科学でのAI・デジタル活用フレームワーク——学校教育の災害レジリエンス向上のための実践と研究の展望——	
午後・B会場 14:50	コミュニケーション (教育)	坪井 俊男 大阪府立長尾高校 理科研究部 部活動指導員 (アルバイト)	福島原発震災に関する STEAM 教育教材の開発—原発・多重防護・電気料金・意思決定・放射能汚染の被害者の裁判・ロールプレイ・ディベートを中心に—	
午後・B会場 15:10	コミュニティ (伝承)	松永紀都美 長崎大学原爆後障害医療研究所	福島県で活動する語り部の特徴と困難経験に関連する要因	
2C 静間 健人 (東日本大震災・原子力災害伝承館)				
午後・C会場 13:30	健康・放射線影響	藤原まどか 関西大学、社会安全学部	自死による災害関連死の発生プロセスに関する一考察	
午後・C会場 13:50	健康・放射線影響	保田 香音 関西大学、社会安全学部	東日本大震災後の福島県における超過死に届出数の分析	
午後・C会場 14:10	健康・放射線影響	柏崎 佑哉 長崎大学原爆後障害医療研究所	福島第一原発事故後の公衆のメンタルヘルスと放射線リスク認知との関連	
午後・C会場 14:30	健康・放射線影響	松本 庄平 関西大学、社会安全学部	災害関連死と生活拠点の移動の関係に関する一考察:東日本大震災における福島県楢葉町に事例	
午後・C会場 14:50	健康・放射線影響	山村 桃花 福島県立医科大学、放射線健康管理学講座	福島における災害関連死と、その制度上の問題	
午後・C会場 15:10	健康・放射線影響	清水 冬樹 東北福祉大学	こども期の被災経験が家族形成に与える影響に関する研究—中高生時代に東日本大震災で被災した若者たちの語りから—	
3A 除本 理史 (東日本大震災・原子力災害伝承館/大阪公立大学)				
午後・A会場 15:40	行政・防災対策	高橋 佑介 関西大学大学院、社会安全研究科	津波避難開始における住民の判断特性の違いを考慮した避難行動の数値解析	
午後・A会場 16:00	行政・防災対策	大坂 恵里 東洋大学	放射性物質汚染対処法施行規則改正省令(案)等の問題点——法的観点からの検討——	
午後・A会場 16:20	行政・防災対策	佐藤 空飛 東北大学	福島原子力災害被災地で得た災害への備えに遅れていることの検証とその原因の把握	
午後・A会場 16:40	コミュニティ (伝承)	山田 修司 東日本大震災・原子力災害伝承館	震災伝承施設は観光対象か? : 2024・2025年ウェブ調査報告	
午後・A会場 17:00	コミュニティ (伝承)	鈴木ミチル 九州大学、共創学部	震災体験の語り方と時間の構造—福島県双葉町での語り部と街歩き事例から—	
午後・A会場 17:20	コミュニティ (伝承)	除本 理史 大阪公立大学大学院経営学研究科	福島原発事故における民間伝承施設の利用促進——地元メディアと連携した取り組み	
3B 中山 千尋 (福島県立医科大学)				
午後・B会場 15:40	健康・放射線影響	中村 美緒 東北大学大学院	原子力災害時に指定箇所での汚染検査を行う装置のβ線源を用いた評価	
午後・B会場 16:00	健康・放射線影響	岩崎 洋亮 福井大学	人混シミュレーションを用いた原子力災害避難時の甲状腺被ばく線量モニタリング体制の検討	
午後・B会場 16:20	健康・放射線影響	田辺 真子 東北大学大学院医学系研究科	体表に残存したβ線源が体内放射能測定に及ぼす影響に関する基礎的検討	
午後・B会場 16:40	健康・放射線影響	田野 久貴 元日本大学、バムツレ大学名誉教授	樹木の放射線把握の試み	
午後・B会場 17:00	健康・放射線影響	中尾 虹海 福井大学	東電福島第一原発事故後5日間における時空間情報の統合による放射線防護対策の検証(2)	
午後・B会場 17:20	健康・放射線影響	中山 千尋 福島県立医科大学	「低レベル放射線曝露と自覚症状・疾病罹患の関連に関する疫学調査」の誤謬と影響について——この調査は双葉町での鼻血を計測していない——	
3C 吉田佳乃子 (福井大学)				
午後・C会場 15:40	健康・放射線影響	緒方 良至 愛知医科大学	ケイ酸バリウムを主成分とするストロントウム吸着剤の吸着特性	
午後・C会場 16:00	健康・放射線影響	佐藤 拓 東北大学災害科学国際研究所	原子力災害に起因する低線量率被ばく影響の生物学的指標に関する検討	
午後・C会場 16:20	健康・放射線影響	河野 彩乃 東北大学大学院	住民個人積算線量計に関する基礎的検討	
午後・C会場 16:40	コミュニケーション	秋田 恭彦 一般社団法人 日本保健物理学会	福島第一原子力発電所事故後のウェブサイトで「専門家が答える暮らしの放射線 Q&A」の活動内容分析と得られた教訓:この経験を未来に伝承するために	
午後・C会場 17:00	コミュニケーション	鳥居 寛之 東京大学	SNS時代の放射線リスクコミュニケーションを考える:異分野連携を目指すWebサイトの活用	
午後・C会場 17:20	健康・放射線影響	吉田佳乃子 福井大学	東電福島第一原発事故後5日間における時空間情報の統合による放射線防護対策の検証(3)	

20日(2日目)

発表(案)	開始時刻	氏名	所属	発表題目
4A 藤本 典嗣 (大阪経済大学)				
午前・A会場 10:20	コミュニティ	伊藤 尚美 福島県立医科大学医学部放射線健康管理学講座	東日本大震災後の相馬戸崎長屋は被災高齢者の生活再建にどう貢献したか——長屋入居者32人へのインタビュー調査——	
午前・A会場 10:40	産業	渡藤 理乃 福島大学	震災前後における福島県産日本酒の流通構造の変化とその特徴— 渡藤理乃・小山良太 福島大学食農科学研究科・福島大学食農学環	
午前・A会場 11:00	コミュニティ	藤井 優多 一橋大学大学院社会学研究科修士課程2年	移転されたコミュニティにおける「社会関係」の再形成の困難	
午前・A会場 11:20	産業	山田 拓実 東京大学大学院	浜通り中4町のサプライチェーンに関する実態と課題—浪江町の飲食店を対象としたケーススタディ	
午前・A会場 11:40	コミュニティ	藤本 典嗣 大阪経済大学	原子力発電所の立地地域における圏域人口と人口増減	
4B 阿高 あや (東京大学大学院学際情報学府)				
午前・B会場 10:20	コミュニケーション	静間 健人 東日本大震災・原子力災害伝承館	東日本大震災・原子力災害に関する社会課題への人々の関心の風化—東北3県と3大都市圏の在住者を対象としたWEB調査データを用いて—	
午前・B会場 10:40	コミュニケーション	矢内真理子 同志社大学 人文科学研究科	『朝日新聞』『毎日新聞』の福島第一原発事故報道——著名記事からみた地方支局の記者の働き——	
午前・B会場 11:00	コミュニケーション	込田 達也 東京大学大学院情報学環教育部	「SNS ネットイブ世代」の情報行動と防災	
午前・B会場 11:20	コミュニケーション	原田 理沙 慶應義塾大学	東日本大震災・原子力災害の経験者が語ること—語り部の語り分析—	
午前・B会場 11:40	コミュニケーション	阿高 あや 東京大学大学院学際情報学府	農協の災害対応と組合員の構構意識——JAふくしま未来における組合員ロイヤリティ調査から——	
4C 橋 清司 (東京大学大学院学際情報学府)				
午前・C会場 10:20	健康・放射線影響	鈴木 正敏 東北大学	福島第一原発事故で生じた不溶性セシウム粒子による細胞影響解析	
午前・C会場 10:40	健康・放射線影響	山本 啓介 東北大学大学院	β線用プラスチックシンチレーションサーベイメータにおけるγ線影響の検証——GMサーベイメータ、NaI(Tl)シンチレーションサーベイメータとの比較——	
午前・C会場 11:00	行政・防災対策	行司 高博 人と防災未来センター	防災DXの進展と国・都道府県・市町村の関係	
午前・C会場 11:20	行政・防災対策	草野日向子 京都大学大学院	メンタルモデルを用いた原子力災害広域避難計画の策定プロセスにおける利害関係者間のコミュニケーションの評価	
午前・C会場 11:40	行政・防災対策	橋 清司 東京大学大学院学際情報学府	東日本大震災と原子力災害からの長期復興過程にある行政組織で働く職員のプロ意識に関する要因分析	
5A 小山良太 (東日本大震災・原子力災害伝承館/福島大学食農学環)				
午後・A会場 13:30	コミュニケーション	折井 孝浩 大田原高等学校	福島第一原発事故の除去土壌問題におけるメディア報道の特徴と認知度への影響	
午後・A会場 13:50	コミュニティ	伊藤 美生 東日本大震災・原子力災害伝承館ユース研究員、青山学院横浜英和中学校	福島県双葉郡におけるご当地キャラクターの役割と住民とのつながりの変遷	
午後・A会場 14:10	コミュニティ	加藤 穂高 福島大学	原子力災害被災地域における居住率の実証分析	
午後・A会場 14:30	産業	八島 樹乃 福島大学食農学環	ナシの輸出における輸出相手国の消費者ニーズ——いわき市産ナシのベトナム輸出を対象に——	
午後・A会場 14:50	コミュニティ	橋本 真祐 一橋大学大学院言語社会研究科	福島第一原子力発電所の廃炉と跡地利用	
午後・A会場 15:10	産業	高橋 彩葉 福島大学食農学環	パッケージに対する消費者評価——いわき市産トマトのブランド化に向けて——	
5B 安本真也 (東日本大震災・原子力災害伝承館/東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)				
午後・B会場 13:30	コミュニティ	三浦 瑞貴 東京大学大学院学際情報学府	2018年以降のロケーションデータから読み取る福島県双葉郡8町村の時系列変化	
午後・B会場 13:50	コミュニティ	橋 凌雄 大阪大学人間科学研究科	福島県浜通り地域の移住者と地域政治参加の課題と可能性	
午後・B会場 14:10	コミュニケーション	UNO Kazuko Louis Pasteur Center fo Medical Research	処理水、汚染水、トリチウム、twitter(X)による議論の推移——肯定・否定、内容の推移——	
午後・B会場 14:30	コミュニケーション	後藤 忍 福島大学生システム理工学環	ALPS処理水に関する映像作品の特性分析	
午後・B会場 14:50	コミュニケーション	林 智裕 東日本大震災・原子力災害伝承館/ジャーナリスト	風評被害とインフルエンsovレーション——除染土パブリックコメントに関するSNS投稿の分析——	
午後・B会場 15:10	コミュニケーション	安本 真也 東日本大震災・原子力災害伝承館/東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター	東日本大震災前後の「福島」に関する全量日本語ツイートの量的分析—原子力災害に関するキーワードに着目して—	
5C 中丸 和 (大阪大学大学院/東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)				
午後・C会場 13:30	行政・防災対策	健 慶和 東京大学大学院	広報紙を用いた東日本大震災における「2次避難」に関する探索的研究	
午後・C会場 13:50	行政・防災対策	藤田 莉緒 福島大学	農業経営体の豪雨災害復旧に関する一考察—福島県いわき市における令和元年東日本台風を事例に—	
午後・C会場 14:10	行政・防災対策	藤塚 明子 宇都宮大学	外国人を含む地域防災のあり方とその検討——宇都宮市、仙台市、及び熊本市における事例調査を通して——	
午後・C会場 14:30	行政・防災対策	瀬戸 真之 東日本大震災・原子力災害伝承館	東日本大震災における液化化現象と今後の予測	
午後・C会場 14:50	行政・防災対策	志原 泰昌 京都教育大学附属京都小学校	自家用車を使用した長期的避難の実態と求められる支援策の検討	
午後・C会場 15:10	行政・防災対策	中丸 和 大阪大学大学院/東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター	災害時の教員加配活用施策が教員の「傷つき」に与えた影響—原子力災害下における専門家としての教員の葛藤と苦悩に着目して—	